

## 第23回

# いわき都市圏総合都市交通推進協議会



### [協議事項]

- (1) 令和8年度事業計画（案）について
- (2) 令和8年度予算（案）について

### [報告事項]

- (1) 「いわき市交通政策対策チーム」における令和7年度の実施状況について



令和8年3月25日（水） 14：00～



## **[協議事項]**

### **議案第1号**

**令和8年度事業計画（案）について**

### **議案第2号**

**令和8年度予算（案）について**





# 1 協議会事業



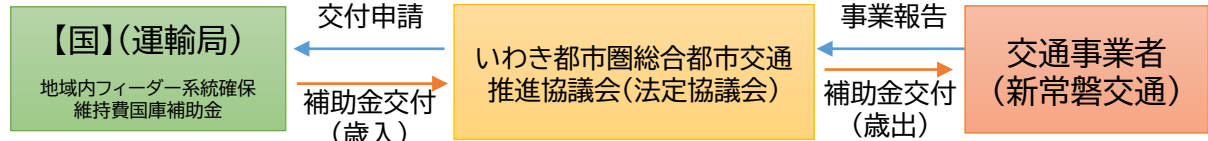
# (1) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統 確保維持費国庫補助金)対象路線への補助

6,794千円

## 1 いわき市地域公共交通計画に基づく基幹バス路線の維持・発展

- 地域公共交通計画では、主要な都市拠点間を結び、バス路線を『**基幹バス路線**』と位置付け、将来にわたり維持する本市の骨格をなす重要な路線としている。
- このことから、国の補助メニュー(地域内フィーダー)を活用しつつ、本市においても運行支援を行うことで、維持・発展を図るものとする。  
※令和7年1月20日開催の第15回協議会にて「いわき市地域公共交通利便増進実施計画」を承認、2月28日に国土交通大臣の認定を受けた。

### 【協議会の役割】



## 2 補助金の概要

### ○令和8バス年度事業

令和7年10月1日～令和8年9月30日

### ○フィーダー補助対象系統:3系統

- ①平-鹿島SC-イオンモール-小名浜
- ②平-鹿島SC-イオンモール-館の腰
- ③いわき駅-常磐病院-湯本駅

### ○事業計画の承認

第17回協議会にて「令和8事業年度 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金計画認定申請」について了承、国へ提出済み

## 3 令和8年度予算案

### ○補助金の算出について

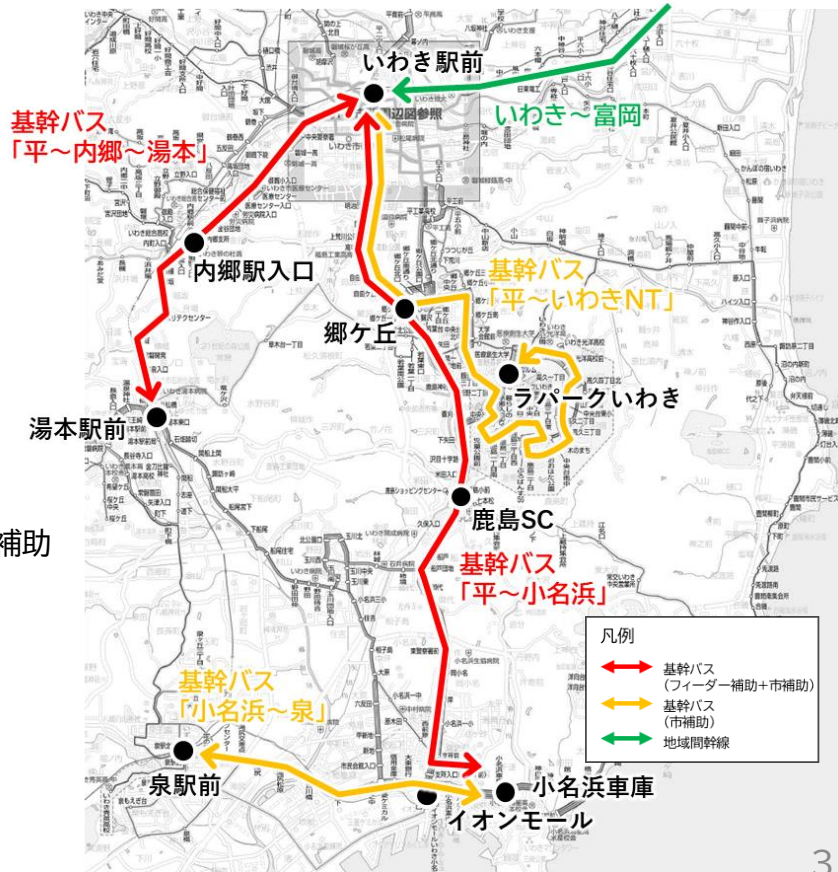
各機関バス路線の1年間の運行に係る経費から運賃収入を除いた欠損額を基に補助国補助金額は、**欠損額の1/2**とするが、**地域ごとに国が定めるキロ単価**で算出

【歳入】 単位:千円

| 内容                          | 金額    |
|-----------------------------|-------|
| 【国】地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金(見込) | 6,794 |

【歳出】 単位:千円

| 内容               | 金額    |
|------------------|-------|
| 交通事業者への補助金交付(見込) | 6,794 |



凡例  
 ➡ 基幹バス (フィーダー補助+市補助)  
 ➡ 基幹バス (市補助)  
 ➡ 地域間幹線

## (2) 令和7年度の実証や調査を踏まえた域内交通確保に向けた協議・検討 (小名浜・常磐・泉・勿来・川部・山田・渡辺・江名地区)

1,000千円

### 《概要》

今後、域内交通確保に向けた取組み(実証運行等)を各地区で実施するにあたり、その内容について、令和7年度に実施した実証運行やアンケート調査、ワークショップ等で得られたデータに基づき、学術機関等とともに連携し、地区住民や交通事業者等と協議・検討を進めるもの。

### ○ 小名浜・常磐地区

・令和7年度は域内交通の実証運行を行った

#### 実証運行の実績

|      | 小名浜地区                     | 常磐地区                         |
|------|---------------------------|------------------------------|
| 運行形態 | 一般乗合旅客自動車運送事業<br>(路線定期運行) | 一般乗合旅客自動車運送事業<br>(デマンド型区域運行) |
| 実証期間 | R7.12/1~R8.2.20 (82日間)    | R7.12/15~R8.2.20 (67日間)      |
| 利用者数 | 延べ934人                    | 延べ151人                       |
|      | 日あたり最大 32人                | 日あたり最大 7人                    |
|      | 日あたり平均 11人                | 日あたり平均 2人                    |



### ○ 泉・勿来・川部・山田・渡辺・江名地区

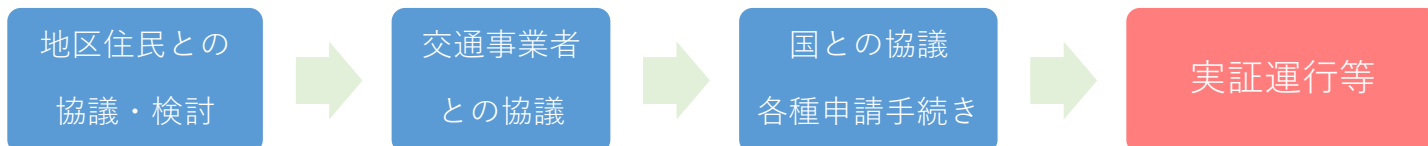
・令和7年度は福島大学や福島高専と連携し、各地域における移動実態やニーズなどの把握を行った

- 【内容】①地区住民を対象としたアンケート調査の実施  
②地区住民や福祉関係者とのワークショップの開催  
③アンケート結果の共有 など



これらの結果を踏まえ、地区住民や交通事業者等とともに、令和8年度に実施する実証運行等の具体的内容の協議・検討を進める。

#### 【実証運行までの流れ】



### (3) 地域共助型交通(小さい交通)の検討及び実証モデル事業

2,000千円

#### ○地域共助型交通(小さい交通)実証事業

##### ・ 共助型交通とは…

公共交通が不便な地域等で、地域住民の助け合いによる輸送や、地域がタクシーを手配し、相乗りによる移動など、**地域の自主的な取組を市が伴走しながら支援**するもの。(自治会単位等の小さい規模)

##### 【例】

- ▶ 路線バスが運行しているが、坂道が多く、バス停までの距離が遠いなど、バス停への接続が課題となっている地区。  
⇒ 路線バスが減便にならないようバスを活かしつつ、バス停までのアクセス改善や日常生活におけるセーフティネットを確保するため、共助型交通の導入を検討。

#### 参考 福島市

##### ① ボランティア輸送 (車は自家用車又はレンタカー)

地域住民の助け合いによる輸送(地域のボランティアドライバーが自家用車等でバス停までの送迎等、利用者の送迎を行う。)



アドバイザー派遣と運行にかかる経費を補助

※ 原則、自治会単位での補助

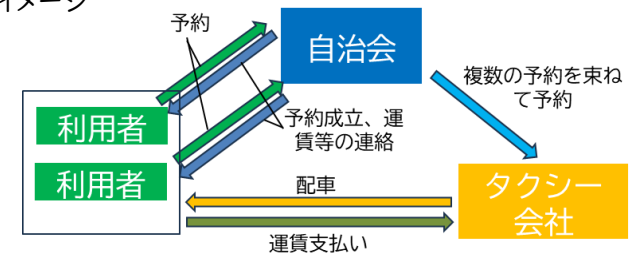
- ☞ 保険料、研修費、事務費、車両維持費(リース料等)などを補助

#### 参考 島根県浜田市、岐阜県多治見市

##### ② 相乗りタクシー

地域がタクシーを手配し、相乗りによる移動(自治会等で曜日や時間を決めて予約を受け付けし、予約を束ねてタクシーを相乗りで利用する。)

##### ○ 利用イメージ



##### 【運行日時の例】

毎週金曜 10時 買い物関係  
毎週火曜 9時 病院関係 など

- ・ 地域共助型交通「小さい交通」への補助制度構築に向けたモデル実証(4地区程度)として実施。
- ・ 公募により、課題意識を持つ地区から優先検討。計画立案、実証の取組を伴走支援する。

# (4)公共交通不便地域における移動手段構築に係る調査・検討

2,260千円

## ○ 内郷・好間地区 産学官民連携による検討

### 《背景》

これまで中山間地域を中心とした公共交通不便地域及び公共交通空白地域における高齢者等の交通弱者の移動手段の確保を目的に、地元住民組織が主体となる地域交通システムを共創により構築してきた。

内郷、好間地区については、中山間地域を含む公共交通不便地域も存在することから、学術機関と連携し、好間地区の市街地部も含めて地域住民の移動実態やニーズを把握していく。

### 《事業概要》

- ・地域住民へのアンケート調査やワークショップの開催等により、地域の交通実態、住民の移動実態を調査・分析を行う。
- ・調査・分析にあたっては、学術機関における専門的な知識の活用や学生ならではの柔軟な発想や考え方にも期待できる。

### 《対象地域》

内郷地区、好間地区

### 《地区の現状》(R7.4.1)

内郷地区

人口:22,380人

65歳以上の人口:7,574人

高齢化率:34%

好間地区

人口:11,410人

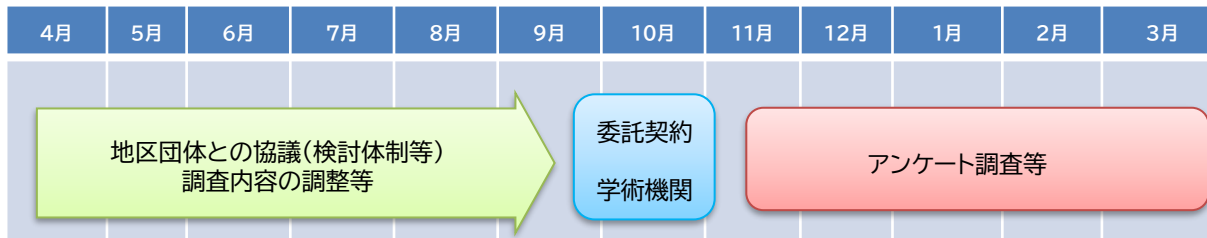
65歳以上人口:3,823人

高齢化率:34%

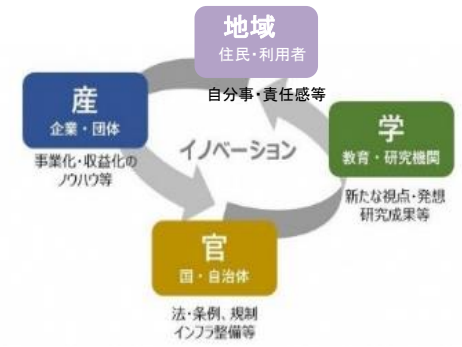
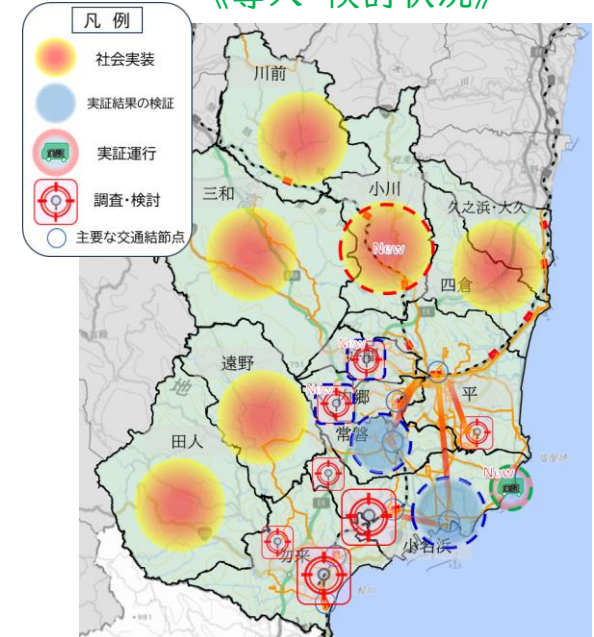
いわき市の高齢化率  
33%(R7.4.1時点)

- ・バス路線があるが本数が少なく、空白となっている時間帯が多い
- ・バス停まで距離のある地域が多い
- ・高齢化率が高く今後も増加する見込み

### 【R8スケジュール】



### 《導入・検討状況》



交通結節点までの移動手段の確保に合わせてまちなかの交通の充実を図る

# (5) 公共交通に対する市民意識の醸成活動

3,910千円

## 1 公共交通利用促進に係る取組み

公共交通への利用転換に向けた市民意識の醸成を推進するため、公共交通の必要性やメリット、**意外と便利な公共交通をこれまで以上に積極的に発信**するもの。

### 【実施事業(案)】

#### エコ通勤の推進

○ 市内事業所における公共交通利用促進の取組みを実施

＜市等によるこれまでの取組み＞

- ・市職員を対象としたエコ通勤を毎月実施(令和6年5月から)
- ・10月は福島県渋滞対策連絡協議会と連動し、エコ通勤強化月間を設けた
- ・**エコ通勤を促すポスターを作成し、各課に掲示**することでカーフリーを推進  
⇒市職員の実施率向上を目指し、また市内事業所への展開について検討



エコ通勤ポスター

#### いわき市バス無料デーの実施

○ 市内発着のバスを無料とすることで、公共交通の利用促進、外出機会の創出

⇒普段の移動手段の一つとしてバスを定着

＜市等によるこれまでの取組み＞

- ・令和7年10月19日(日)及び令和8年3月18日(水)バス無料デーを実施  
⇒**令和8年度においても、平日・休日それぞれ1日ずつ開催を想定**
- ・LATOVやら・ら・ミュウ、既存のイベントと連携し、公共交通の利用を促進



バス無料デーポスター

## 2 令和8年度予算案

| 【歳入】 |       | 単位:千円 | 【歳出】           |       | 単位:千円 |
|------|-------|-------|----------------|-------|-------|
| 内容   | 金額    |       | 内容             | 金額    |       |
| 市負担金 | 3,910 |       | 公共交通利用促進に係る事業等 | 3,910 |       |
| 合計   | 3,910 |       | 合計             | 3,910 |       |





## 2 【参考】市が関係機関と連携 して実施する事業



# (1) 地域公共交通計画等改定に向けた基礎調査

## 1 事業概要

- ・現行の地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画は令和9年度を終期に計画改定の時期を迎える。
- ・**令和8年度については基礎調査等**を行い、令和9年度の計画改定作業に向けたデータ収集及び方向性を決定するもの。
- ・交通事業者が有する各種資源を効率的に活用した公共交通ネットワークの構築を目指す。

## 2 事業内容

### (1) 現状診断

#### ①人口情報

- ・居住人口、高齢人口、従業者数等

#### ②地域特性情報

- ・公共交通軸・拠点、事業所数、医療機関、福祉施設、学校等

#### ③交通ネットワーク情報

- ・鉄軌道、路線バス、タクシー営業所・車両数等、乗合タクシー等の区域、公共的な輸送サービスの運行路線(スクールバス、福祉輸送、病院輸送)

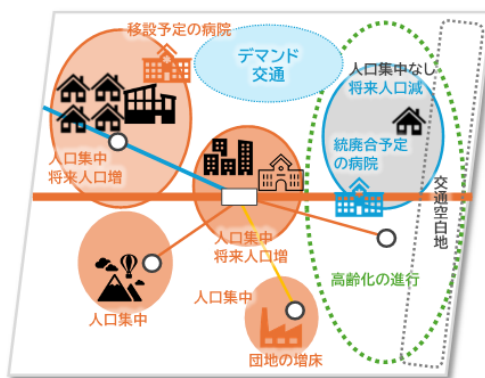
#### ④交通サービスの利用実績

- ・鉄軌道、路線バス、タクシーの利用実績

#### ⑤存在需要

- ・将来人口、人流データ、アンケート調査

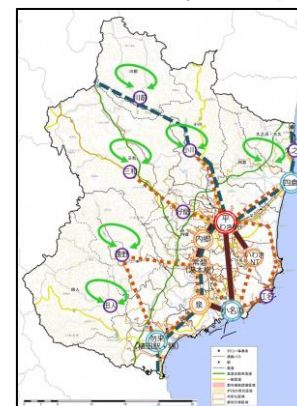
データを重ね合わせて  
現状や課題を『見える化』



現状把握+課題の洗い出し

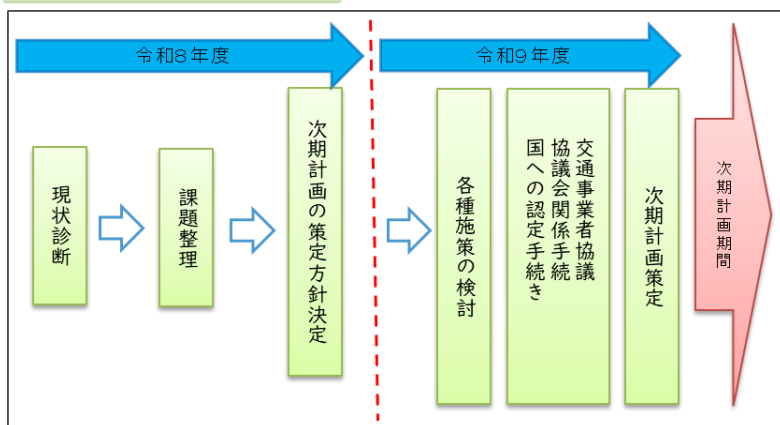
### (2) 地域交通が目指す姿の設定

現状診断から出た課題を整理し、  
対応方策の検討



次期「地域公共交通計画」  
における策定方針の決定

## 3 スケジュール(予定)



### 【スケジュール(予定)】

- ・令和8年6月：調査業務委託契約
- ・令和8年7月：交通事業者との対話(データ提供等)
- ・令和8年12月：協議会(現状把握・分析に基づく課題の洗い出し、基本方針の設定)
- ・令和9年3月：協議会(次期計画の策定方針の提示)

## (2) 三和地区及び田人地区の住民ボランティア輸送への支援

▶ 平成31年に開始した**三和・田人地区**における**住民ボランティア輸送**の取組みを支援。

《R7利用状況》R8.1.31現在 (単位:人・回)

| 内容/地区 | 三和  | 田人  |
|-------|-----|-----|
| 登録運転者 | 28  | 21  |
| 登録利用者 | 74  | 44  |
| 延利用者数 | 475 | 648 |



## (3) 川前地区の公共ライドシェアへの支援

▶ 令和5年度に開始した**川前地区**における**公共ライドシェア**の取組みを支援。

《R7利用状況》(R8.1.31時点)

利用登録者:78名

→川前地区居住者の約10%が登録済

利用回数(延べ):334回 稼働日数:77日



## (4) 遠野地区及び久之浜・大久、四倉地区の定額タクシーへの支援

▶ 令和7年度に開始した**久之浜・大久、四倉、遠野地区**における**定額タクシー事業**の取組みを支援。

《利用状況(遠野地区)》(R8.1月末時点)

利用登録者:132名 利用回数(延べ):686回 利用実人数:737人  
助成額 972,300円 ※ 運行開始から6か月



《利用状況(久之浜・大久、四倉地区)》(R8.1月末時点)

利用登録者:251名 利用回数(延べ):826回 利用実人数:949人  
助成額 1,158,310円 ※ 運行開始から3か月



## (5) 小川地区における地域交通の社会実装に向けた協議・調整

▶ 令和7年の11月から4か月間実施した**小川地区**における**定額タクシー実証事業**の実証結果を検証し、必要に応じて改善等を図り、実装に向けた協議・調整を進める。

《利用状況》(R8.1月末時点)

利用登録者:108名 利用回数(延べ):106回 利用実人数:117人  
助成額60,780円 ※ 運行開始から3か月

## (6) 公共交通担い手確保に向けた支援

運転手不足により大きな影響を受けている市内の公共交通事業者を支援

### 施策① 第二種運転免許取得等に係る経費補助

【令和6年度実績】

| 種別   | 区分     | R6担い手確保活用採用者数 |
|------|--------|---------------|
| 大型二種 | 乗合バス   | 9名            |
|      | 貸切バス   | 8名            |
| 普通二種 | 一般タクシー | 36名           |
|      | 福祉タクシー | 4名            |
| 合計   |        | 57名           |

【令和7年度実績（R8.2月末時点）】

| 種別   | 区分     | R7担い手確保活用採用者数 |
|------|--------|---------------|
| 大型二種 | 乗合バス   | 6名            |
|      | 貸切バス   | 11名           |
| 普通二種 | 一般タクシー | 15名           |
|      | 福祉タクシー | 1名            |
| 合計   |        | 33名           |

→令和8年度も支援を継続

### 施策② バス・タクシー運転体験会&就職相談会開催

市内交通事業者や教習所のサポートを得て、バス・タクシーの運転体験会と就職相談会を開催

【令和7年度実績】

体験者数 29名

バスAM 13/15枠PM 16/15枠

タクシーAM 3/15枠PM 7/15枠

来場者 39名



### 施策③ 移住施策と連携した担い手確保

首都圏で開催される移住促進イベントにIWAKIふるさと誘致センターと連携して出展

- ・ふるさと回帰フェア
- ・福島くらし&しごとフェア など



▲ふるさと回帰フェア2025



▲福島くらし&しごとフェア2025

### 施策④ 自衛隊との地域を支える公共交通の人材確保に向けた連携・協力協定締結

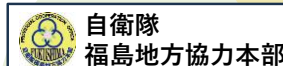
【基本となる共通の取組事項】

- ・退職予定自衛官が公共交通事業者への再就職を希望するための支援策の検討及び実施
- ・公共交通事業者が求める人材要件に関する情報の共有
- ・退職予定自衛官に対する公共交通事業者への再就職に向けた啓発



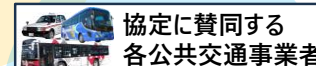
→3/27締結予定

- ・本協定に掲げる事項を円滑に取り組めるよう連絡調整



【公共交通における人材確保への協力事項】

- ・福島地方協力本部・郡山駐屯地内における積極的な企業紹介
- ・公共交通事業者と協力した積極的なインターンシップ機会の設定
- ・公共交通事業者に対する、業種・企業セミナー及び合同企業説明会への招待



【公共交通における人材確保に向けた取組事項】

- ・退職予定自衛官向けの採用に関する積極的な広報
- ・自衛隊と協力した積極的なインターンシップ機会の設定
- ・退職予定自衛官への可能な範囲での優遇処置

【自衛隊における人材確保への協力事項】

- ・自衛官・予備自衛官の募集等に関する広報協力（停留所や車内でのポスター掲示など）
- ・自衛官募集イベントにおける可能な範囲での協力（シャトルバス等による移動手段の確保）

## (7) 鉄道交通活性化に向けた取組み

### 鉄道利用促進イベント等の実施

- ・イベントの開催等により鉄道の必要性や利用のメリットをこれまで以上に市民に届け、**鉄道や沿線地域への関心を高め**、イベント等を通じて**鉄道の魅力を発信**する。

### 〈鉄道交通活性化〉

#### ①「サイクルトレイン」の運行検討

- 磐越東線の利用促進及び**魅力発信**のため、「サイクルトレイン」の運行を検討。



#### ②いわきFCとの連携

- いわきFCと連携し、磐越東線を利用する方にインセンティブを付与し、**磐越東線の利用促進及び試合への誘客**を図る。



#### ③市制施行60周年記念「企画列車」の運行検討

- 市制施行60周年を記念し、**マイルール意識醸成や磐越東線の魅力発信**のため、企画列車を運行を検討。



### 〈マイルール意識の醸成〉

#### ①市民総ぐるみ運動に合わせた駅清掃活動

- 令和8年度(春):いわき駅  
// (秋):勿来駅で実施予定

#### ②鉄道交通利用促進に向けた啓発活動

- 令和8年度(春)(秋):いわき駅で実施予定



#### ③マイルール意識醸成のための鉄活セミナー

**ふくしまDC連携**

- 令和8年度は「ふくしまDC」開催と「市制施行60周年」「常磐線開業130周年」を記念し、これまで以上に**市民のマイルール意識を醸成**するべく、**鉄道知識豊富な著名人に講演を依頼**して、ふくしまDC期間である**6月に開催予定**

#### ④小学生を対象とした親子鉄道工作教室

- 鉄道に興味や関心を持ってもらうことを目的に、**鉄道ジオラマを製作**するワークショップを開催





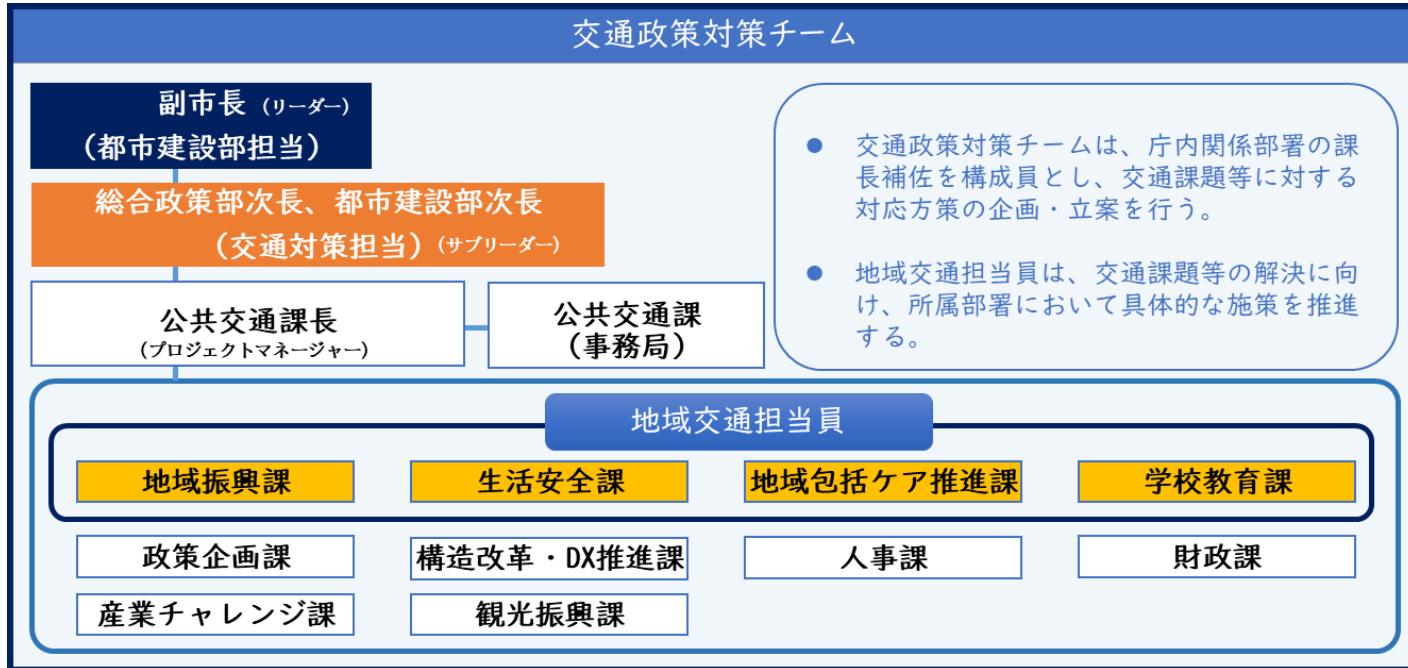
## [報告事項]

**(1) 「いわき市交通政策対策チーム」における令和7年度の取組状況について**

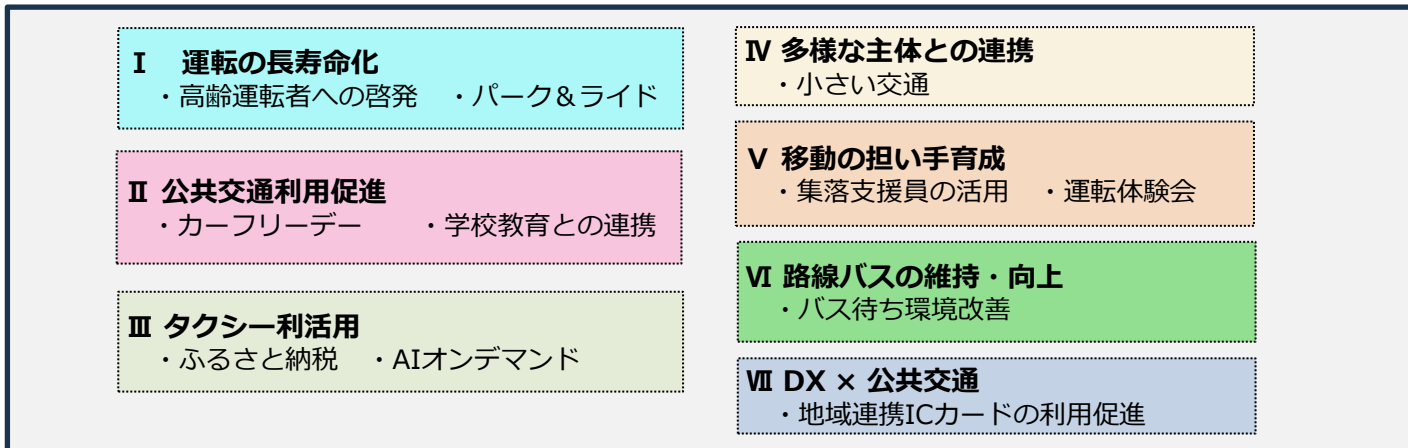




## □ 本市の交通課題解消に向けて、**庁内横断的**に対応するため令和6年5月に設置



## □ 交通政策対策チームではこれまで「**7つのテーマ**」について検討





# テーマ I 運転長寿命化

## 安全を確保しながら、公共交通利用にも繋がる車の運転を！



### ◆ 安全運転サポート車体験会の実施（実証事業）



教習指導員によるサポカーの説明



前輪を段差に当ててアクセルを踏み込みますが…  
警告音が鳴り、車は前に進みません

- 実施日 令和7年12月8日(月)
- 場所 平中央自動車学校
- 参加者 17名



高齢者安全運転教室（いきいき運転講座）

➢ R8以降も体験会を開催し、ペダル踏み間違い時加速抑制装置の周知を図る。

### ◆ ゆとりある運転「補償運転」チラシ作成・啓発

#### 補償運転について、 考えてみませんか？



補償運転とは、加齢に伴う運転能力の低下を補うため、自身の体調や環境（天気、道路状況など）を考慮して、危険な運転場面を避けて運転する方法です。

具体的には、「夜間や雨の日の運転を控える」、「長距離運転を避ける」、「体調が悪い時は運転しない」といった、自分に合ったルールを決めて、余裕をもって運転することをいいます。

加齢に伴う自身の能力を踏まえた「自動車安全運転マイルール」を作り、家族や友人と話し合い、無理のない範囲で安全運転を継続しましょう。

いわき市 市民協働部 生活安全課  
電話 0246-22-1152

自動車安全運転マイルールは裏面へ

#### 自動車安全運転マイルール

| 氏名                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                           |
| <b>■自身の体調に関するマイルール</b><br>私は、『<br>(例) ・体調が悪い時は、運転しません。<br>・薬の副作用で眠くなる時は、運転しません。                                                           |
| <b>■環境（時間帯、天気、道路状況など）に関するマイルール</b><br>私は、『<br>(例) ・曇のうちに運転し、夜や雨の時間帯には、運転しません。<br>・大雨や強風など、天気が悪い時には、運転しません。<br>・朝夕など、道路状況が悪化する状況では、運転しません。 |
| <b>■行き先に関するマイルール</b><br>私は、『<br>(例) ・急行先へ帰っているお店や病院の往復のために運転します。<br>・長距離運転はせず、家から近くの場所まで運転します。                                            |
| <b>■ワンポイントアドバイス</b><br>運転に不安を感じた時には、鉄道や路線バスなどの公共交通を利用することや、地区で実用している定額タクシーやボランティア輸送を活用することも、安全運転を継続する選択肢の一つです。                            |



### ◆ パーク＆ライド駐車場の整備

- 実証事業 令和7年12月～令和9年2月
- 整備台数 約10台



➢ 実証の登録者数が多いが実利用者が少ない状況。引き続き、登録者や地域対話等により検証や改善策の検討を進める。

➢ R8以降も、ゆとりある運転「補償運転」の普及啓発を図る。

## みんなで公共交通利用の意識を持って、移動困難者を支える！

### ◆ カーフリーデー（バス無料デー）の実施（実証）



平日と日曜日にそれぞれ1回ずつ実施

普段に比べ1.5倍～1.8倍の利用があり、潜在的なバス利用者がいることを確認



バス内に備え付けの左記のチラシを市内の提携店舗で掲示すると飲食等の特典あり

特典例

- ・ららミュウ 買い物券（500円）
- ・ラトブ内 飲食店割引
- ・公共交通課ブース ボールペン、クリアファイルプレゼント



10/19同日開催の「いわき大物産展」にて新常磐交通のバスを展示



➤ 次年度も大型イベントとの同時開催、特典企画を検討する。

### ◆ エコ通勤の強化（チラシの作成・啓発）



主な取組み

- ・職員ポータルでの啓発
- ・本庁舎各階トイレ脇に掲示
- ・部長会議にて職務室に掲示依頼



（イメージ図）

➤ 職員のエコ通勤実施者を増やししながら、市内企業への周知を図る。

### ◆ 公共交通を利用した教育活動（遠足等）の提案



（イメージ図）

- 【提案モデルコース案】
- 09:24～09:35 小川郷駅～いわき駅（磐東線）
  - 09:42～09:56 いわき駅～泉駅（常磐線）
  - 10:20～10:35 泉駅～イオンモール（常交バス）
  - 10:45～11:15 小名浜港サンシャインシーガル
  - 11:25～11:45 大震災展見学（ら・ら・ミュウ）
  - 11:50～12:20 昼食
  - 12:31～13:16 イオンモール～いわき駅（常交バス）
  - 13:27～13:38 いわき駅～小川郷駅（磐東線）

➤ 磐越東線沿いの小学校に公共交通の出前講座を行いながら提案予定  
来年度は常磐線沿いの小学校にも拡大し実施を検討する。



# テーマⅢ タクシー利活用

## 究極のデマンド交通であるタクシーを使い倒そう！



### ◆ ふるさと納税メニューの造成

#### 5 令和7年度の主な取組み

◆ 新たに登録し、ポータルサイトに掲載されている返礼品



NEW

#### 本市体験型の返礼品

##### ふるさといわきタクシーチケット

回数券タイプのタクシーチケットで、ご高齢の方もご利用いただけます。市外に暮らすご家族から、ご両親へのプレゼントとしてもご利用ください。

- ▶ チケット5,000円分
- ▶ 寄附金額：18,000円



県タクシー協会いわき支部等と協議



R7.7.29市長記者会見で発表



○寄附実績  
R8.2末時点：45件  
(約80万円)



➢ 今後も多くの機会を通して、積極的にPR活動を展開する。

### ◆ AIオンデマンド交通サービスの導入検討



- いわきNTにおけるスマートタウンモデル地区推進事業と併せて検討を進め、アンケート調査や地区懇談会を実施する。
- 令和9年度には実証運行を開始予定。



# テーマⅣ 多様な主体との連携

## 地域の交通課題を解決するため、地域の移動資源を総動員！



### ◆ 福祉車両を活用した買い物支援の普及啓発



- ・福祉施設等が所有する車両を活用
- ・施設の利用者送迎に使用されていない空き時間に実施
- ・地域住民を対象にスーパーなどの商業施設まで送迎し、買い物を支援

➢ 普及啓発を継続し、地域における福祉車両活用の拡大を図る。

### ◆ 「小さい交通※」の構築に向けた検討

※大量輸送を担う鉄道やバスといった従来の「大きな交通」に対して、地域住民の身近な移動ニーズを満たすための、規模が比較的小さい共助型の交通手段



住民ボランティア輸送（イメージ）



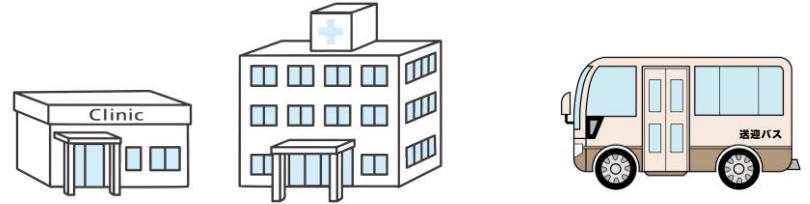
相乗りタクシー（イメージ）



各地区における移動交通手段に関するワークショップにおいて、1つの交通手段の例として、小さい交通を例として説明している  
 ⇒ 各地区でニーズがあれば、選定される可能性あり

➢ 各地区と協議を継続しながら、実証に向け検討を進める。

### ◆ 医療機関バス車両を活用したモデル事業の検討



- ・医療機関が自ら運行している送迎バスの活用可能性を検討
- ・既存の路線バスの運行状況を踏まえて検討

➢ 市内各地で進める地域交通構築の検討との整合を図りながら検討を進める。



# テーマV 移動の担い手育成

## 誰もが移動の担い手に、ひとづくり日本一を目指して！



### ◆ 地域交通への地域参加の強化

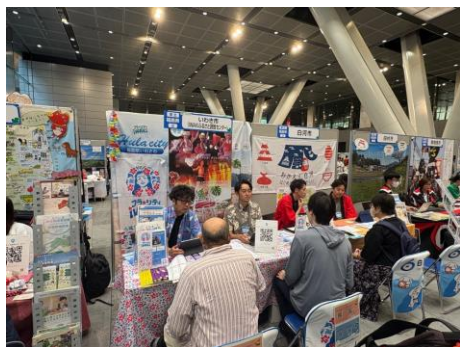


高齢者等の移動手手段の確保

集落支援員制度を活用（R7～：川前地区、R8～：田人地区を拡大）

- 今後も運転手確保の課題等を地域と共有し、持続可能性を高める。

### ◆ 公共交通の担い手確保施策の展開



移住イベントでのPR



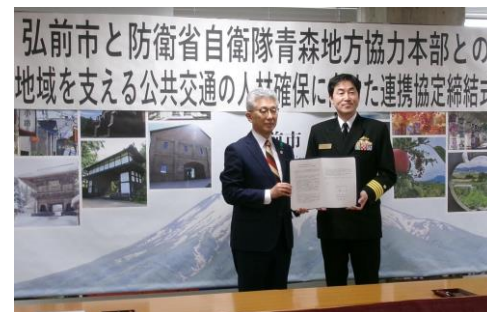
バス・タクシー運転体験、就職相談会の実施

日時：1月18日（日）  
 場所：平中央自動車学校  
 運転体験参加者数：29人  
 見学等を含めると約40人

### 令和7年度免許取得支援実績 (1月末現在)

| 区分   | 人数 | 備考   |
|------|----|------|
| 乗合バス | 6  | 退職1名 |
| 貸切バス | 7  |      |
| タクシー | 11 |      |
| 計    | 24 |      |

最新データへ



自衛隊と人材確保に向けた連携協定締結（予定）  
自衛官の定年退職年齢は概ね56歳での定年退職。

多くの退職自衛官は大型運転免許など資格を有し、再就職にあたり即戦力となる人材。

退職予定の自衛官の方々が、公共交通機関への再就職を希望していただけるよう、連携及び協力して取り組む事項を整理し、協定を締結するもの。

- 運転手不足が解消されていないため、R8以降も支援を継続する

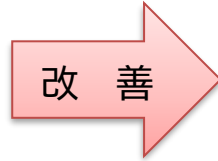


# テーマⅥ 路線バスの維持・向上

## 持続可能な路線バスネットワークの実現を下支え！



### ◆ バス待ち環境改善の検討



- ・屋根等がなく、雨風や寒さをしのげない
- ・ベンチがない

近隣のコンビニや銀行などでバス待ちが可能となるよう協議

➢ バス待ち環境の改善に向けて、バス停周辺の商業施設等と協議を進める。



# テーマⅦ DX × 公共交通

## DXを駆使して、便利な公共交通を実現！



### ◆ LOCOCA・企画定期券の販売促進

いわき市公共交通関係団体・利用促進基金支援事業

一般路線バス限定 限定発売10,000セット

今度は **プレミアム付き**

**LOCOCA**

2025年3月10日～9月30日まで  
【プレミアムポイント有効期間】2026年3月31日まで

6,000円分のプレミアムポイントが **3,000円**で買える!

ゴールドバス・スチューデントバスが **3,000円引き**で買える!

プレミアム付きLOCOCA  
発行部数 10,000部 2ヶ月で完売  
(R7.3:6,173部、R7.4:3,827部)

| 対象事業者 | 媒体                           | プレミアムの内容                             |
|-------|------------------------------|--------------------------------------|
| バス事業者 | ICカード(LOCOCA)<br>プレミアムポイント付与 | 3,000円の支払い<br>→6,000ポイント(円分)<br>乗車可能 |
|       | ICカード(LOCOCA)<br>ゴールドバス割引    | 通常9,000円/月のところ<br>→6,000円で販売         |
|       | ICカード(LOCOCA)<br>スチューデントバス割引 | 通常17,000円/月のところ<br>→14,000円で販売       |



一日乗車券の使い方を紹介する動画を作成・公開  
(出前講座や乗り方教室等において今後活用)

➢ 交通ICカード「LOCOCA」のお得情報の積極的なPRを継続し、普及・拡大を図る。